



校門前にある「お地蔵さん」

昨年度、一昨年度も書きましたが、今年度もお伝えしておきたいと思います。

本校の校門に向かって上ってくる坂道の左側に「お地蔵さん」が安置されています。このお地蔵さんは、平成14年、持久走大会中に高等部の生徒が倒れ、救急搬送された病院で亡くなられた事故があり、そのことを忘れないようにと、窯業班と一緒に学



んでいた生徒や先生方が作られたものだと思います。お地蔵さんは2体つくられ、1体は生徒宅へ、もう1体は、倒れられた道路脇に、お地蔵さんの家をご家族の方がつくられ、奉られたそうです。その後、設置場所について区長さんからの申し出があり、現在の場所に置かれることになりました。

平成25年に台風で破損したため高等部の木工班の生徒が立て直し、平成30年、傷んでいた屋根を本校職員が張り直しました。平成25年にご両親が学校を尋ねられ、お地蔵さんを引き取りにみえたそうですが、家もきれいにされて奉られていたので感謝され、引き取りはされず帰られたそうです。

私は、その由来を知って以来、週に一回お水を替え、安らかにお眠りくださいとお祈りをしています。時が経つと、このお地蔵さんの由来もわからなくなってしまいます。昨年度、一昨年度の繰り返しになりますが、再度お伝えをさせていただきました。

子どもたちの様子

学校が始まって10日間ほどが経ちました。子どもたちの様子はどうか。先生も多く入れ替り、最初はバタバタしていた学校も、徐々にいつもの流れを取り戻し、緊張していた子どもたちも学校生活を楽しみ始めました。小学部1年生も、集団としてはまだまだですが、一人一人は少しずつ先生や学校に馴染んできています。新しい学校、新しい学年、新しい先生、新しい友だち……子どもたちは、環境の大きな変化にとまどいながらも、一生懸命に成長しようとしています。心配なこともあるかもしれませんが、大丈夫です。焦らず、ゆったりとした気持ちで見守っていただければと思います。不安なことがありましたら、いつでも担任、部主事にご相談ください。